

- 第24期 -

中間決算説明会

2004年11月30日



Globality Engineering Maker

株式会社 エスイー

第24期中間損益計算書(連結)

単位：百万円

科目	平成15/9期	平成16/9期	増減額
売上高	4,224	3,519	704
売上原価	3,075	2,617	458
売上総利益	1,148	901	246
(売上総利益率)	(27.2%)	(25.6%)	(1.6%)
販売運賃・販売手数料	125	118	7
その他販売費及び一般管理費	1,165	1,174	9
営業利益	142	390	248
営業外収益	33	20	12
営業外費用	24	30	5
経常利益	133	400	266
特別利益	0	2	1
特別損失	12	2	9
税引前中間純利益	145	401	255
法人税・住民税・事業税	44	145	100
中間純利益	100	255	154

前年対比
16.7%

前年対比
21.5%

広告宣伝費
研究開発費
の増加

分野別売上高・粗利益(連結中間)

単位：百万円

分野		平成15/9期		平成16/9期		
		百万円	構成比	百万円	構成比	増減率
環境防災事業	売上	3,079	72.9%	2,679	76.1%	13.0%
	粗利益	948		813		14.2%
	利益率	(30.8%)		(30.3%)		(0.5%)
社会インフラ事業	売上	1,064	25.2%	772	22.0%	27.5%
	粗利益	177		66		62.5%
	利益率	(16.7%)		(8.5%)		(8.2%)
関連事業	売上	80	1.9%	68	1.9%	15.5%
	粗利益	21		20		3.6%
	利益率	(27.1%)		(29.4%)		2.3%
合計	売上	4,224	100%	3,519	100%	16.7%
	粗利益	1,148		901		21.5%
	利益率	(27.2%)		(25.6%)		(1.6%)

第24期中間貸借対照表(1)(連結)

単位：百万円

科目	平成15/9期	平成16/9期	増減額
資産の部			
現預金	913	1,142	229
営業債権	4,360	3,788	571
棚卸債権	589	703	114
その他	361	362	1
流動資産計	6,223	5,997	226
有形固定資産	3,025	3,150	125
無形固定資産	114	88	26
投資その他の資産	1,309	1,412	103
固定資産計	4,449	4,651	201
資産合計	10,673	10,649	24

売上高減少に伴う影響

「斜材開発実験ター」等

エスイーバイオマステクノ(株)ティアイエス(株)の取得

第24期中間貸借対照表(2) (連結)

単位：百万円

科目	平成15/9期	平成16/9期	増減額
負債の部			
営業債務	2,752	2,524	228
一年内返済長期借入金	407	381	25
一年内償還社債	74	184	110
その他	244	203	41
流動負債計	3,478	3,293	185
社債	296	662	366
長期借入金	974	736	238
退職給付引当金	262	303	41
その他	347	360	13
固定負債計	1,880	2,062	181
負債合計	5,359	5,355	4
資本の部			
資本金その他	5,529	5,493	36
有価証券評価差額金	74	22	51
自己株式	141	177	35
資本合計	5,314	5,293	20
負債・少数株主持分・資本合計	10,673	10,649	24

売上原価減少に伴う影響

当中間期の社債発行
550百万円

キャッシュフロー計算書(1) (連結中間)

単位：百万円

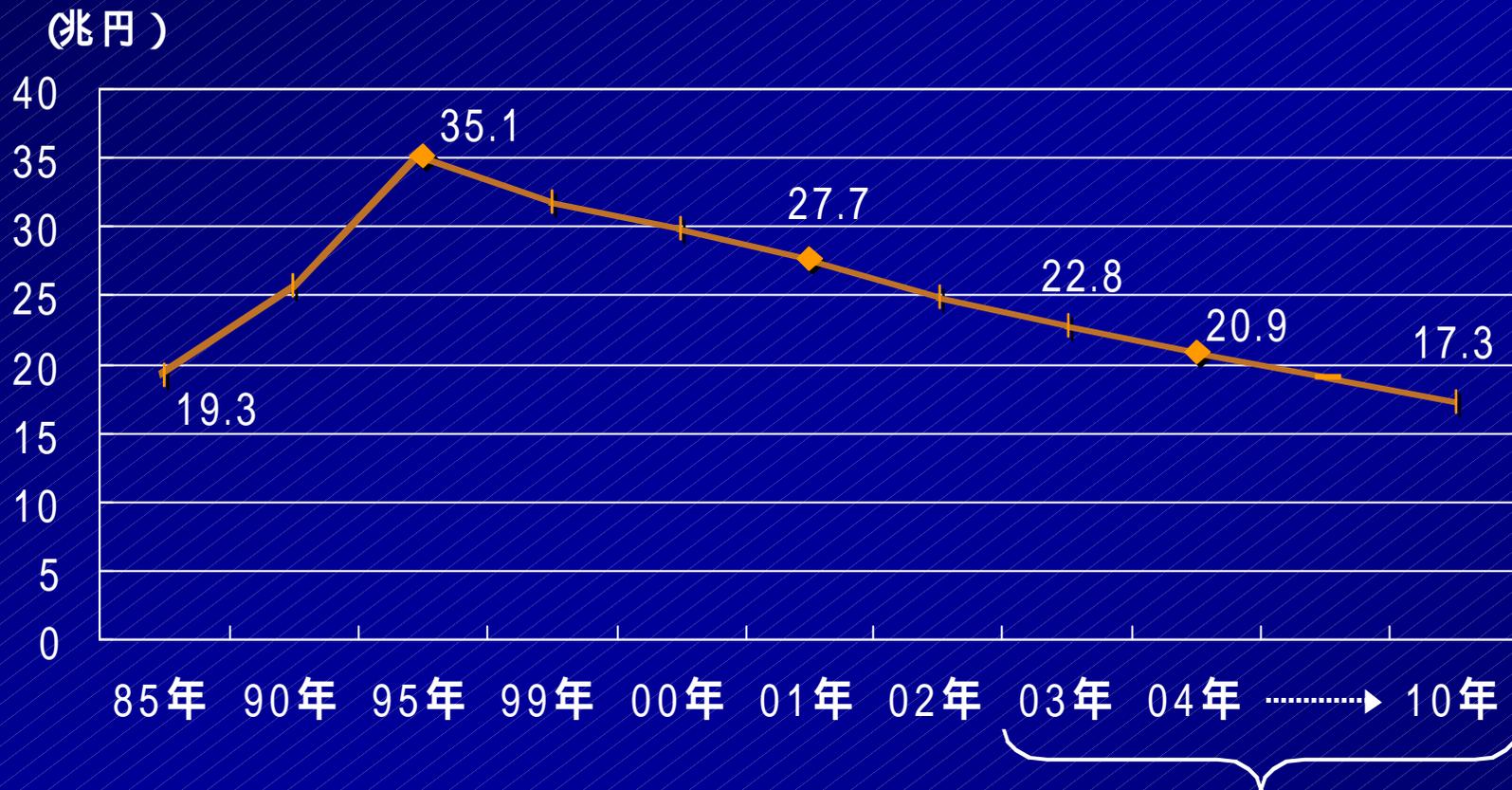
科目	平成15/9期	平成16/9期	増減額
営業活動によるキャッシュフロー			
税金等調整前中間純損失	145	401	255
減価償却費	99	99	0
売上債権の増減額(増加：)	624	1,406	782
棚卸資産の増減額(増加：)	47	143	95
仕入債務の増減額(減少：)	189	531	341
法人税等の支払額	294	215	78
その他	63	17	45
計	16	197	213
投資活動によるキャッシュフロー			
有形固定資産の取得による支出	25	218	193
無形固定資産の取得による支出	7	9	1
投資有価証券の取得による支出	111	30	80
その他	4	1	6
計	149	256	107

キャッシュフロー計算書(2) (連結中間)

単位：百万円

科目	平成15/9期	平成16/9期	増減額
財務活動によるキャッシュフロー			
短期借入による収入	-	-	-
短期借入の返済による支出	-	-	-
長期借入による収入	80	150	70
長期借入の返済による支出	245	209	35
社債発行による収入	362	539	176
社債償還による支出	-	37	37
親会社による配当金の支払額	118	117	1
自己株式取得による支出	27	-	27
計	50	325	274
現金及び現金同等物中間期末残高	828	1,057	229

政府建設投資(名目)の中期予測



7年間で約25%減

参考:(財)建設経済研究所 資料より

地方財政の借入金残高の状況

(兆円)

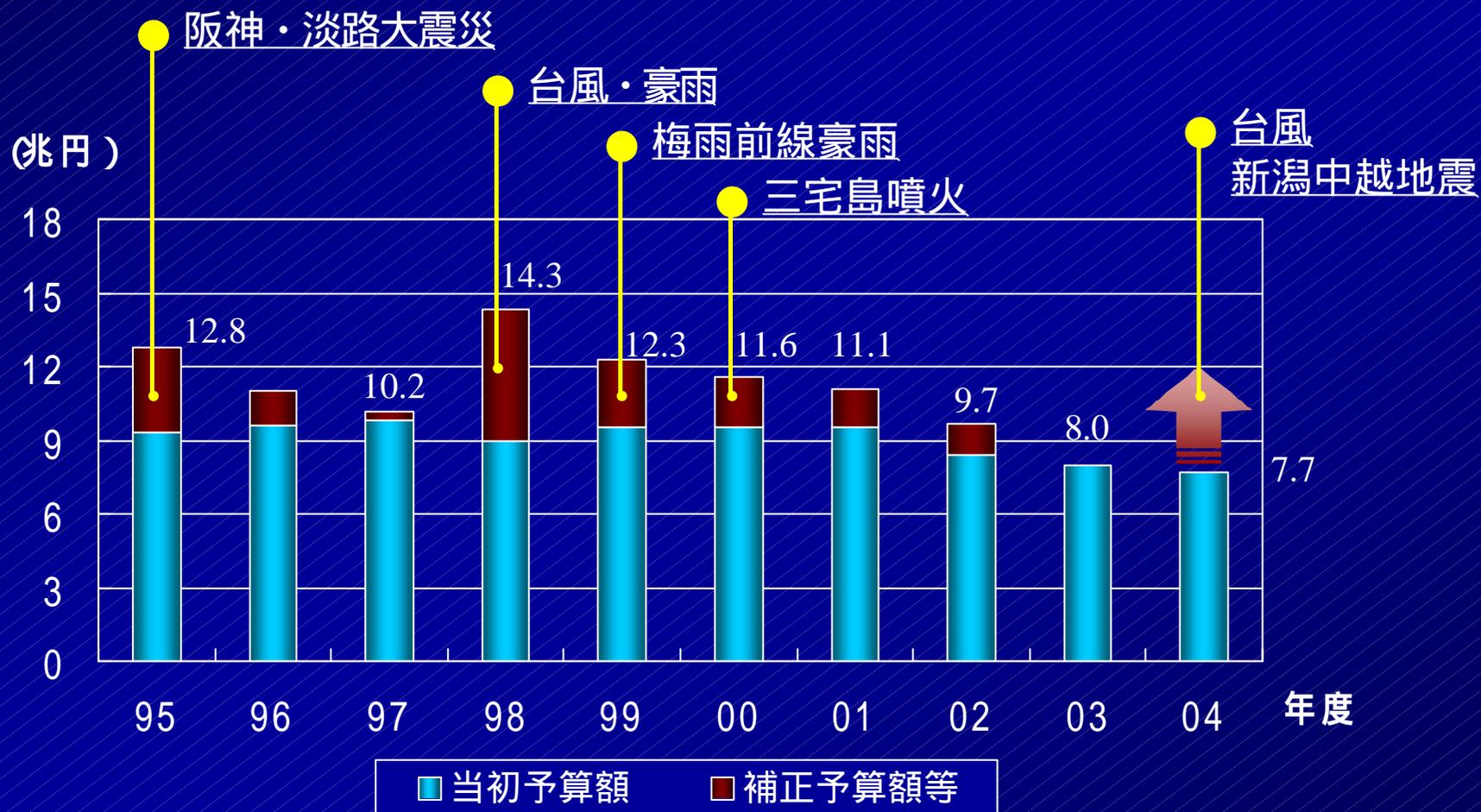


(03年度)借入金残高199兆円 GDP比40.0%

総務省「地方財政の現状」

補正予算

■ 公共事業費（国費）の推移

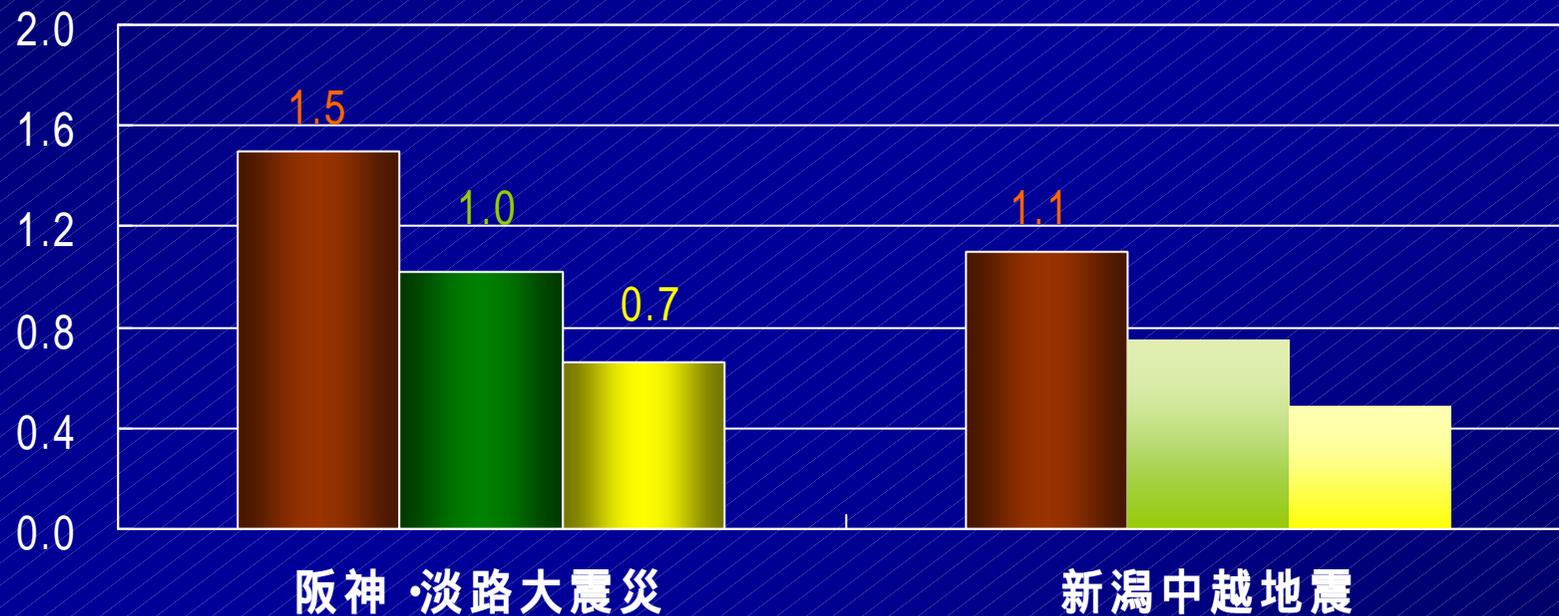


(参考) 国土交通省「最近の建設経済」

補正予算

■ 新潟中越地震に関わる補正予算額

(兆円)



■ 被害総額 ■ 補正予算額 ■ 補正のうち、災害対応公共事業関係費

第24期損益計算書(連結通期)

単位：百万円

科目	平成16/3期 実績	平成17/3期 予測	増減額
売上高	9,293	9,382	88
売上原価	6,356	6,646	290
売上総利益	2,937	2,735	202
(売上総利益率)	(31.6%)	(29.2%)	(2.4%)
販売運賃・販売手数料	263	299	36
その他販売費及び一般管理費	2,275	2,282	7
営業利益	399	153	245
営業外収益	73	57	15
営業外費用	43	47	3
経常利益	428	163	264
特別利益	20	4	16
特別損失	13	2	11
税引前中間純利益	434	165	268
法人税・住民税・事業税	196	66	129
当期純利益	238	99	139

分野別売上高・粗利益(連結通期)

単位：百万円

分野		平成16/3 実績		平成17/3 予測		
		百万円	構成比	百万円	構成比	増減率
環境防災 事業	売上	7,128	76.7%	7,433	79.2%	4.3%
	粗利益	2,509		2,394		4.6%
	利益率	(35.2%)		(32.2%)		(3.0%)
社会 インフラ 事業	売上	2,013	21.7%	1,800	19.2%	10.6%
	粗利益	392		301		23.2%
	利益率	(19.5%)		(16.7%)		(2.8%)
関連事業	売上	152	1.6%	149	1.6%	2.0%
	粗利益	36		40		11.1%
	利益率	(23.7%)		(26.8%)		(3.1%)
合計	売上	9,293	100%	9,382	100%	1.0%
	粗利益	2,937		2,735		6.9%
	利益率	(31.6%)		(29.2%)		(2.4%)

中長期的な成長への経営戦略

- 「開発型企业」への積極的取組み -

【経営理念】

「変化と新しい価値の創造」

- 新しい機能の創造
顧客満足
 - 社員の個性尊重
新しい価値の創造、各人の意欲と能力の発揮
 - 「循環型社会」への変化
自然環境との調和
-

開発型企业への本格的移行

開発型企业

既存事業

・・・開発・改良による付加価値の創出

新規事業

・・・成長期待分野への挑戦

製品開発

技術開発

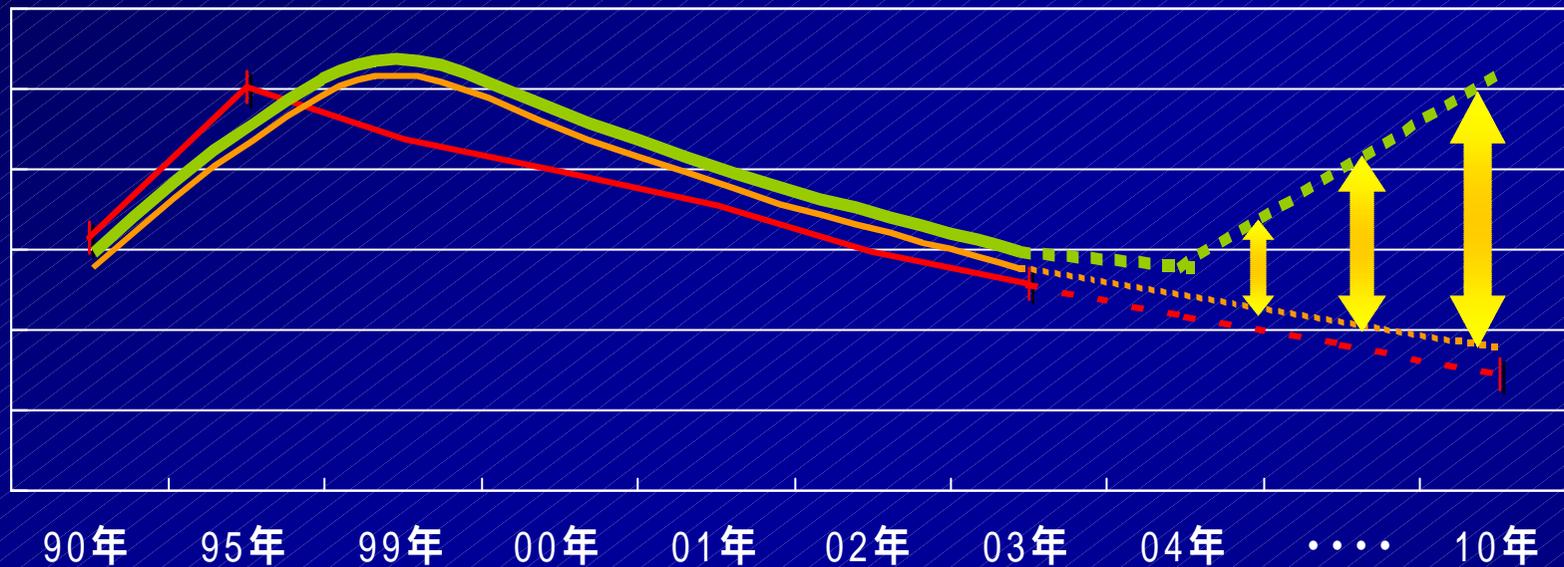
市場開発

新事業分野開発

人材開発

5つの柱

政府建設投資の推移と当社の方向性



- ◆ 政府建設投資・・・1995年をピークに減少
2003年～2010年の7年間で約25%減

市場の縮小



当社の成長

パラドックスの克服

パラドックス克服のために

製品開発・・・KIT受圧板、ダブルアンカー-M型

技術開発・・・斜材・架設、真空グラウト

市場開発・・・建造物耐震補強、北海道市場

新事業分野開発・・・バイオマス

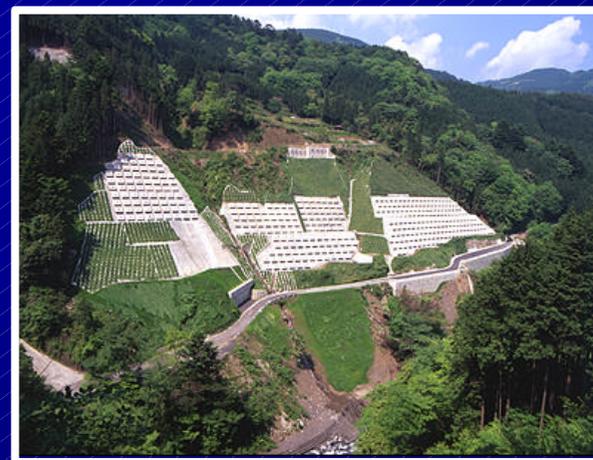
人材開発・・・開発型企业に必要な人材

KIT受圧板



KIT 受圧板の特長

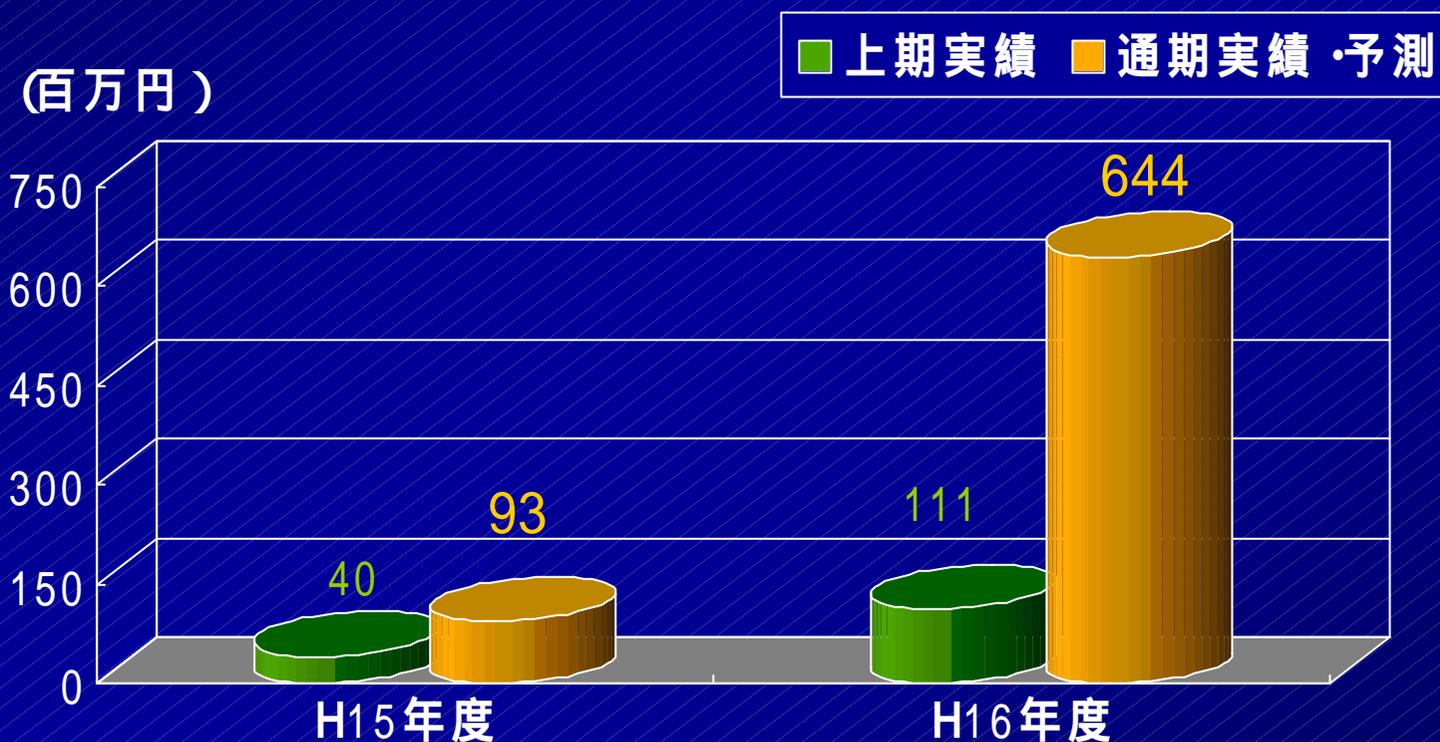
- 全面緑化に近い法面の緑化が可能
- 角型鋼管の使用により軽量化実現
- 工場製品であり品質は安定
現場施工の省力化
- 多彩な製品バリエーション



従来の法面施工

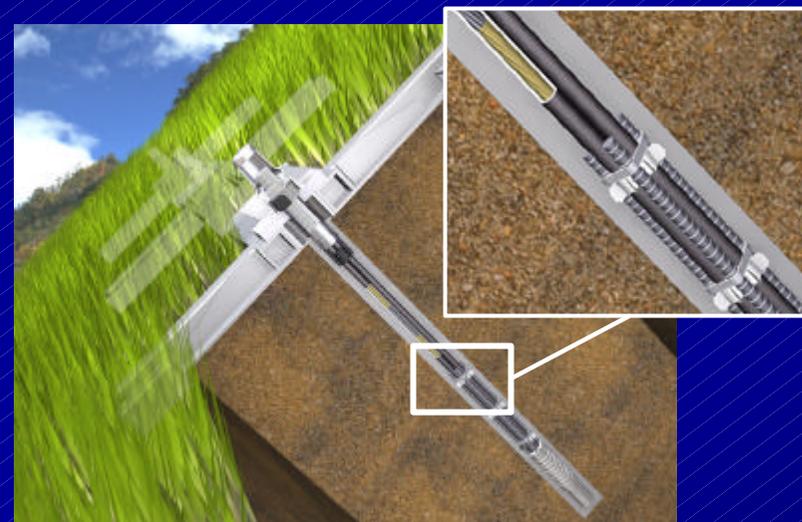
KIT受圧板

■ 売上高の推移 (KITフレーム・KIT受圧板)



・ダブルアンカーM型

(財)砂防・地すべり技術センター
より技術審査証明取得



- 削孔径の縮小により工事コスト縮減
- 脆弱地盤への応用拡大

現地生産体制の整備

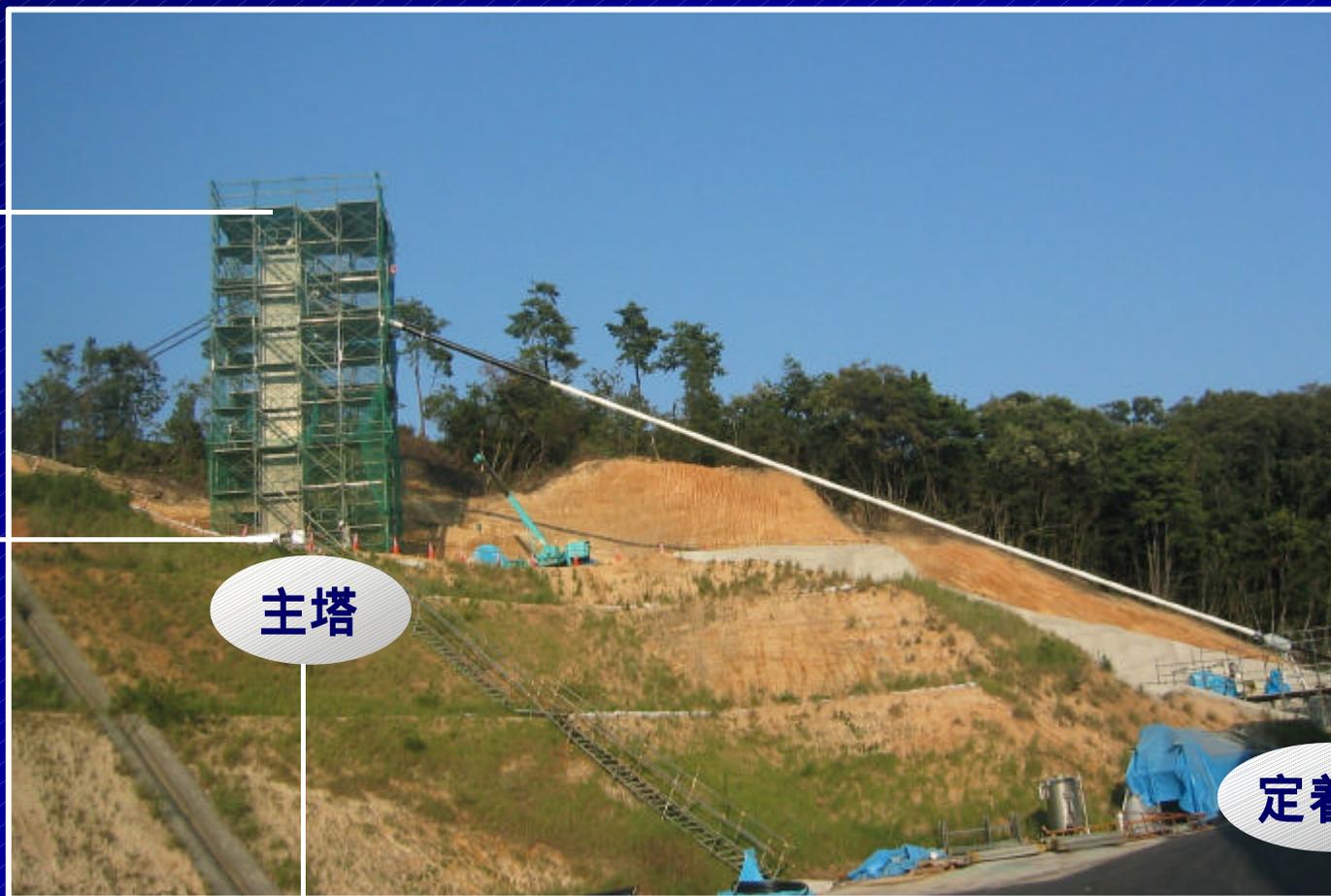


更なるコスト縮減

北海道市場における戦略製品

斜材開発実験タワー

主塔高
15m



主塔

定着部

50m

・斜材開発実験タワー

■ 建設の目的

効率的な斜材架設方法の検討

➡ 施工性の向上によるコスト縮減



実際構造物での実験による高精度データの入手、蓄積

AQ Stressing System SEC ↔ MSEC形状調整技術



大型斜張橋物件の受注に向け、競争力強化

斜材開発実験タワー

■ 公開実験時写真



・ 斜材開発実験タワー

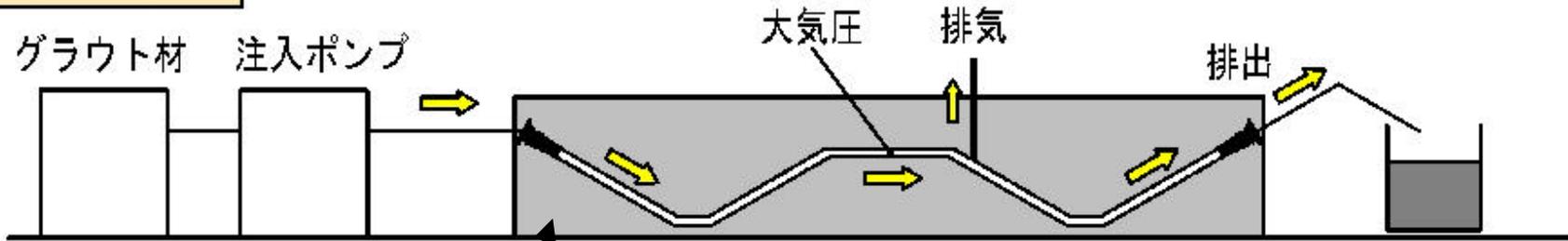
■ 国内大型斜張橋プロジェクトの売上予測

(百万円)

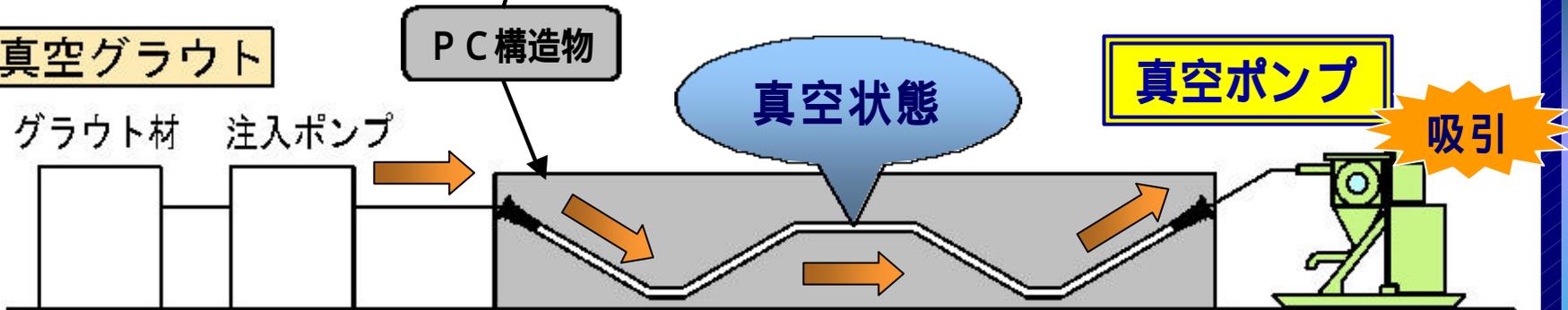


真空グラウト

従来の方法



真空グラウト



従来工法よりも強度、耐久性に優れた工法

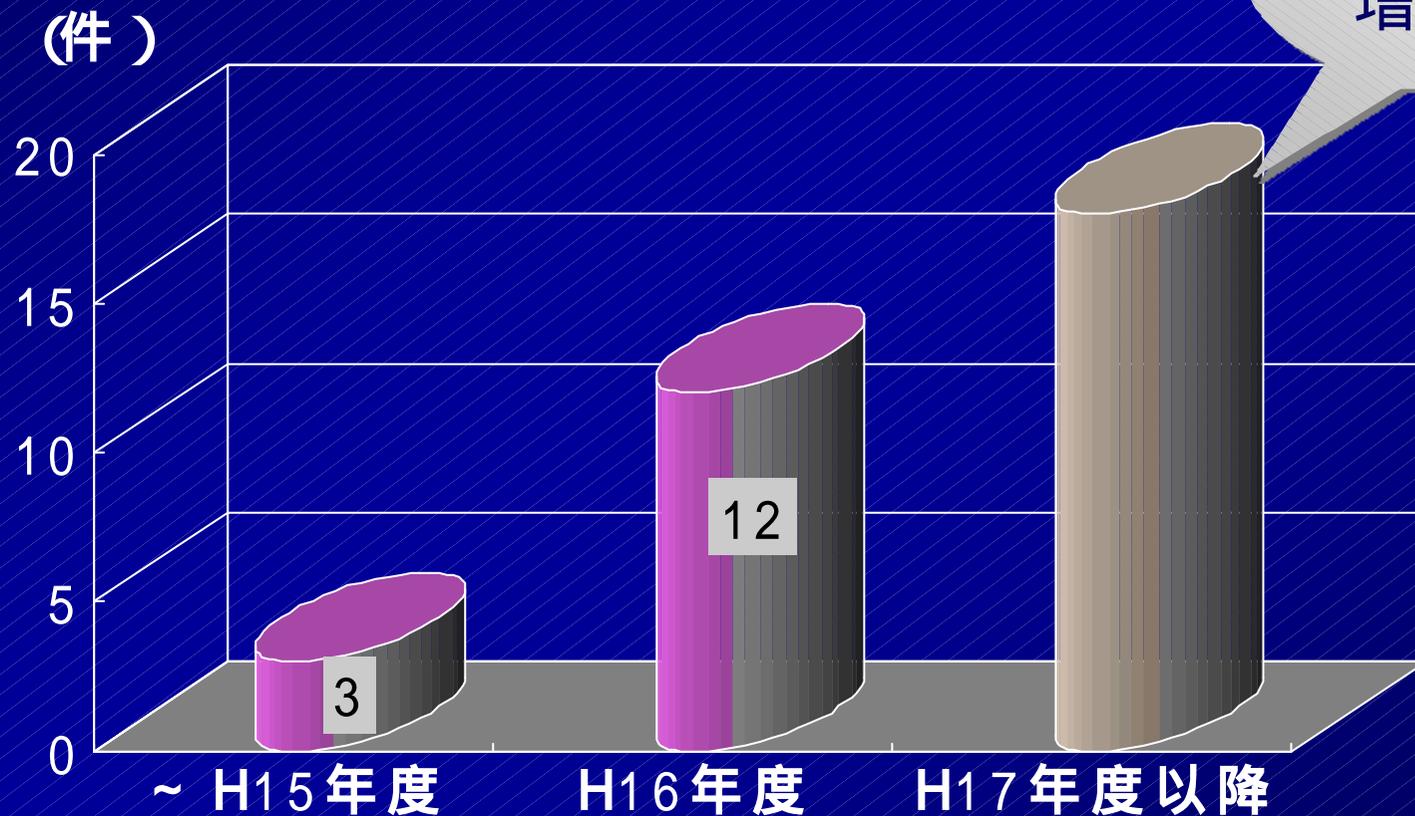
真空グラウト工法



真空グラウト

■ 真空グラウト 現場着工件数 (実績・見込)

~ 建設工事の品質保証 ~



今後も
増加傾向

建造物耐震補強

既存橋梁の補修・補強



建造物の耐震補強



新しい補修・補強市場

新潟中越地震及び東海・南海地震対策

- ・ 学校の避難所
- ・ 病院の耐震時の稼動

建造物耐震補強

- 大手ゼネコン、PC專業者考案の耐震補強工法に
当社のケーブルが採用される



耐震補強イメージ

■ 注目されるバイオマス市場

- 「バイオマス・ニッポン総合戦略」 (平成14年12月閣議決定)
温暖化防止、循環型社会、競争力のある新たな戦略的産業の育成
- 「食品リサイクル法」
食品廃棄物の再生利用実施率を20%以上に義務付け(H18年度迄)
- 「家畜排せつ物法」 etc....

更なる成長が見込まれる市場

- エスイーバイオマステクノ株式会社（8月3日設立）
 - 資本金：2,500万円
 - 有機残渣処理装置の設計、製造、販売、据付、およびメンテナンス
 - 有機残渣処理装置を用いたバイオマス事業

バイオマス

SEC型減圧乾燥発酵システムは、減圧しながら、乾燥・発酵を同時におこなうことで、さまざまな有機資源を、品質を損なうことなく、短時間・大量に、再利用できる形に変換するシステムです。

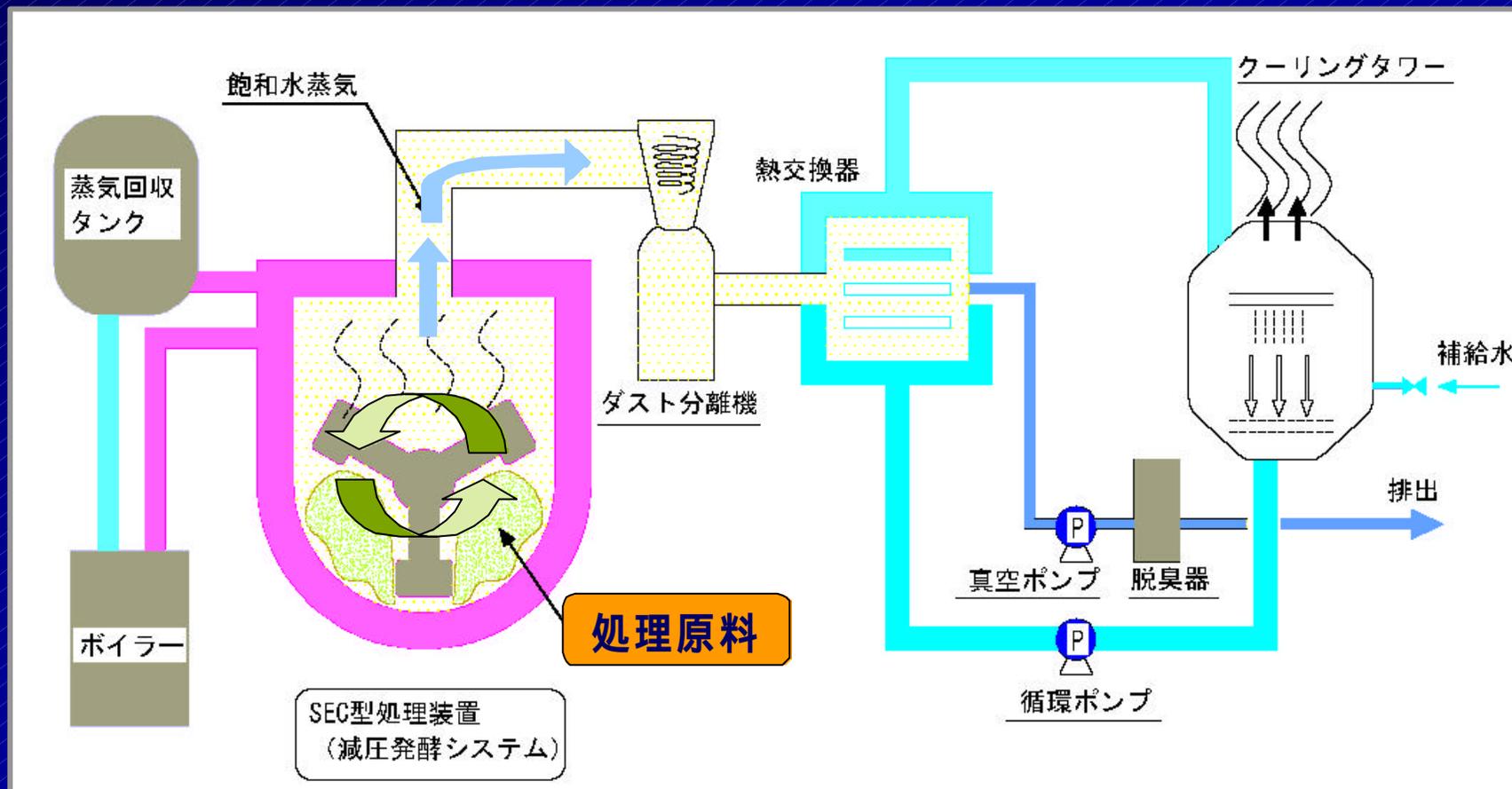


■ SEC型減圧乾燥発酵システムの特長

- 素早く、大量に
ほとんどの原料を2～4時間程で処理
- 幅広い適応性
日常の生ごみから産業廃棄物まで
- 栄養を再利用
微生物の活動により、栄養素を壊さず処理
処理槽内は適温(60℃)を維持
- 含水率が自在
製品用途に応じて含水率を調整 大幅な減量も可能



■ SEC型減圧乾燥発酵システム



新事業
分野開発

バイオマス

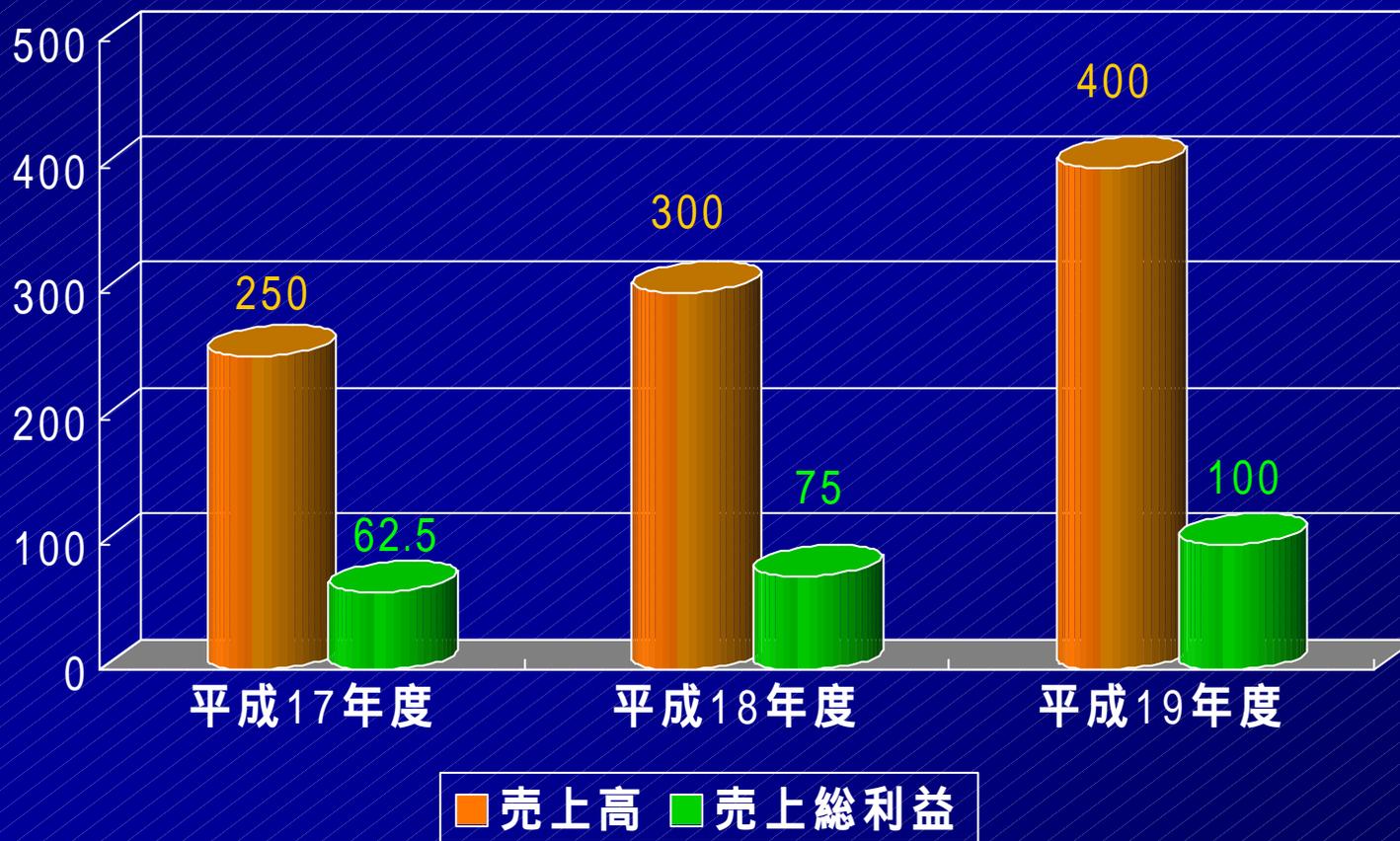
■ 農林水産環境展 EFAFF2004 (11/24-26 幕張メッセ)



SE Corporation

■ バイオマス事業の売上・利益計画

(百万円)



人材開発

人材開発

製品開発

技術開発

市場開発

新事業分野開発

人材開発

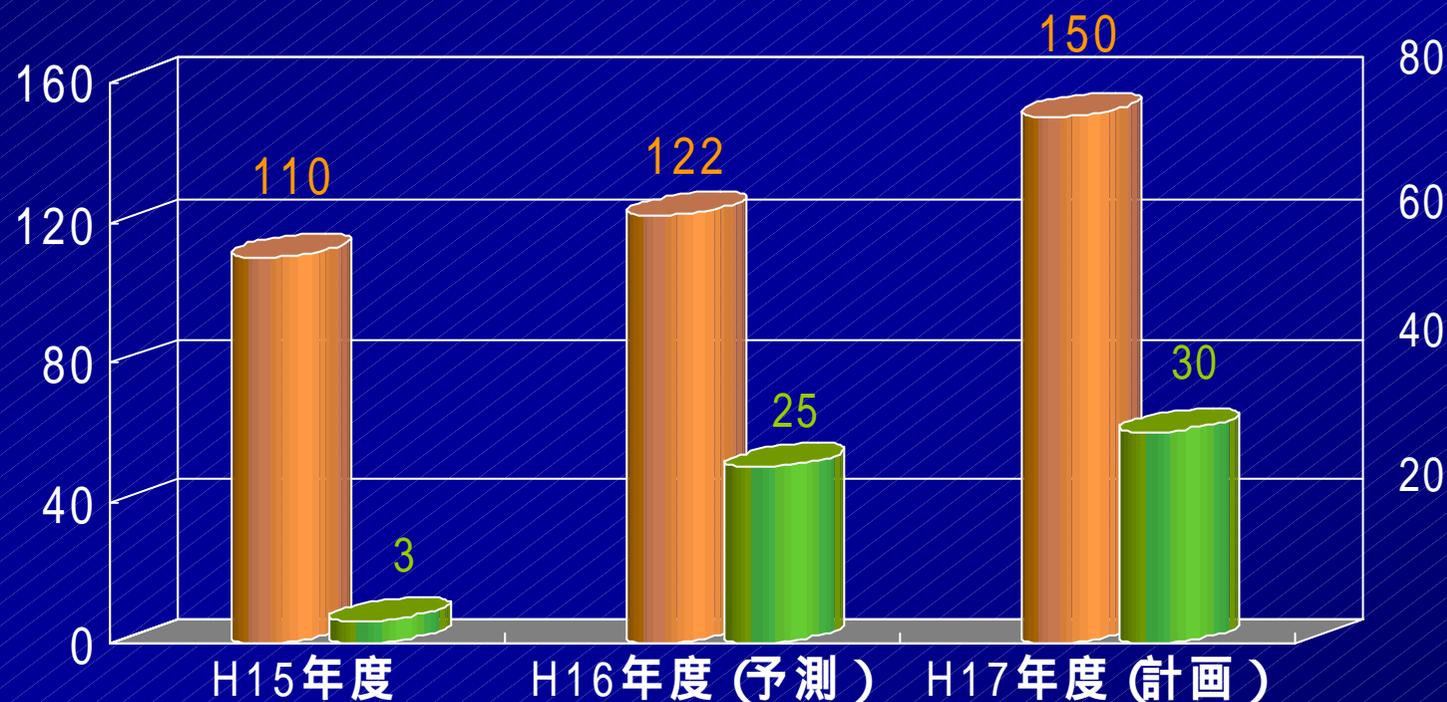
- 開発型企业に必要な人材
- 新しい事業には新しい人材
- 人材の質的向上

アンジェロセックの事業報告

■ 売上・経常利益 (H15～17年度)

売上 (百万円)

経常利益 (百万円)



■ 売上 ■ 経常利益

■ 平成17年3月期 通期予測

(単位: 百万円)

	H16/3期実績	H17/3期予測	増減額
売上高	110	122	12
売上原価	72	62	10
売上総利益	38	60	22
営業利益	3	25	22
経常利益	3	25	22
当期純利益	3	25	22

アンジェロセックの事業報告

■ 国内設計業務（橋梁設計・景観設計）

【実績】 国土交通省道路橋梁形式検討業務



- ◆ コスト構造改革に沿った経済合理性と構造合理性に即した様々な技術提案(OEM)
- ◆ PC斜張橋とその施工法を含めた修正提案

アンジェロセックの事業報告

■ ラデスラグレット橋 (チュニジア)



アンジェロセックの事業報告

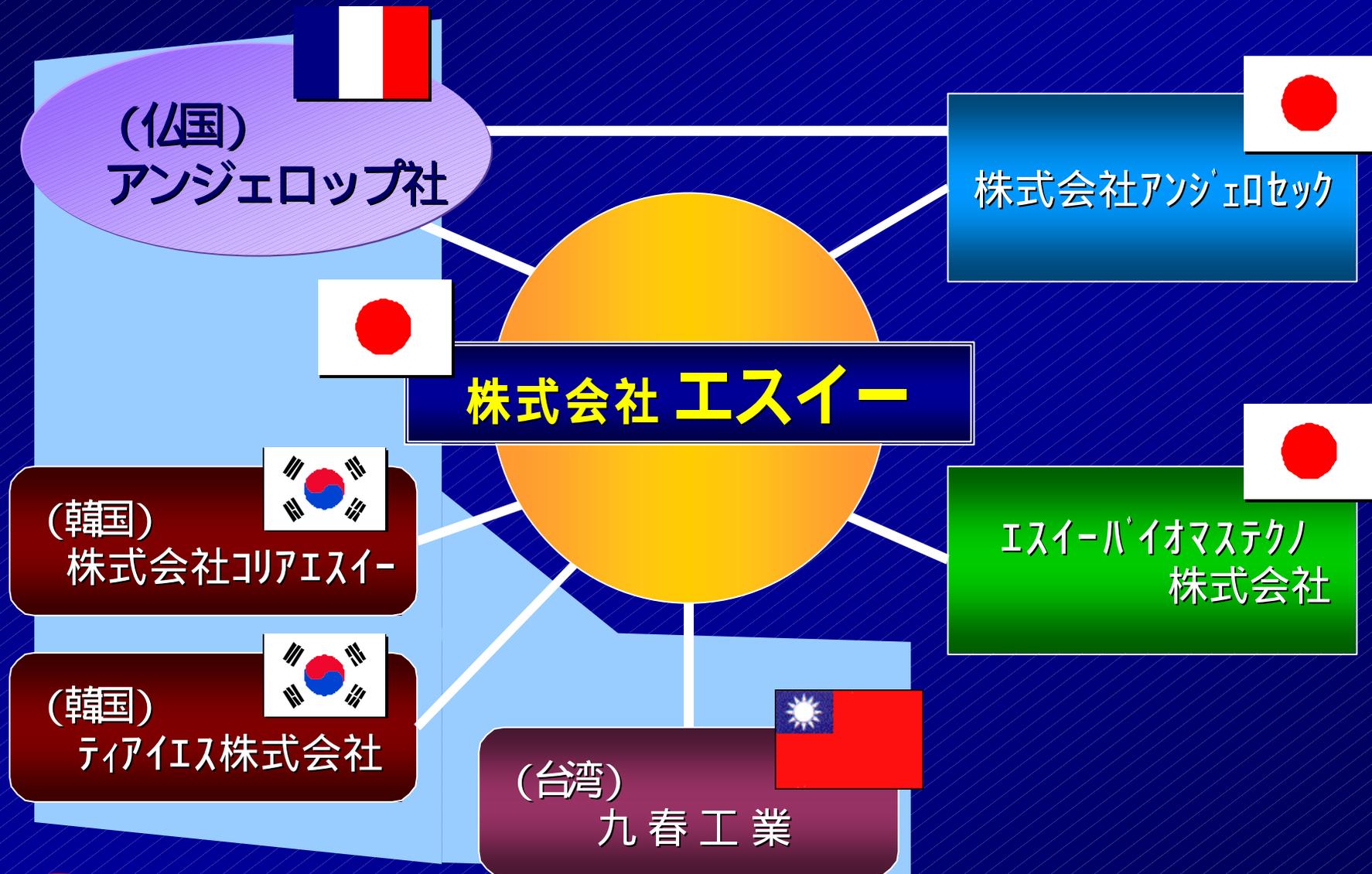
- 橋梁建設計画基本設計調査 (インドネシア JICA案件)



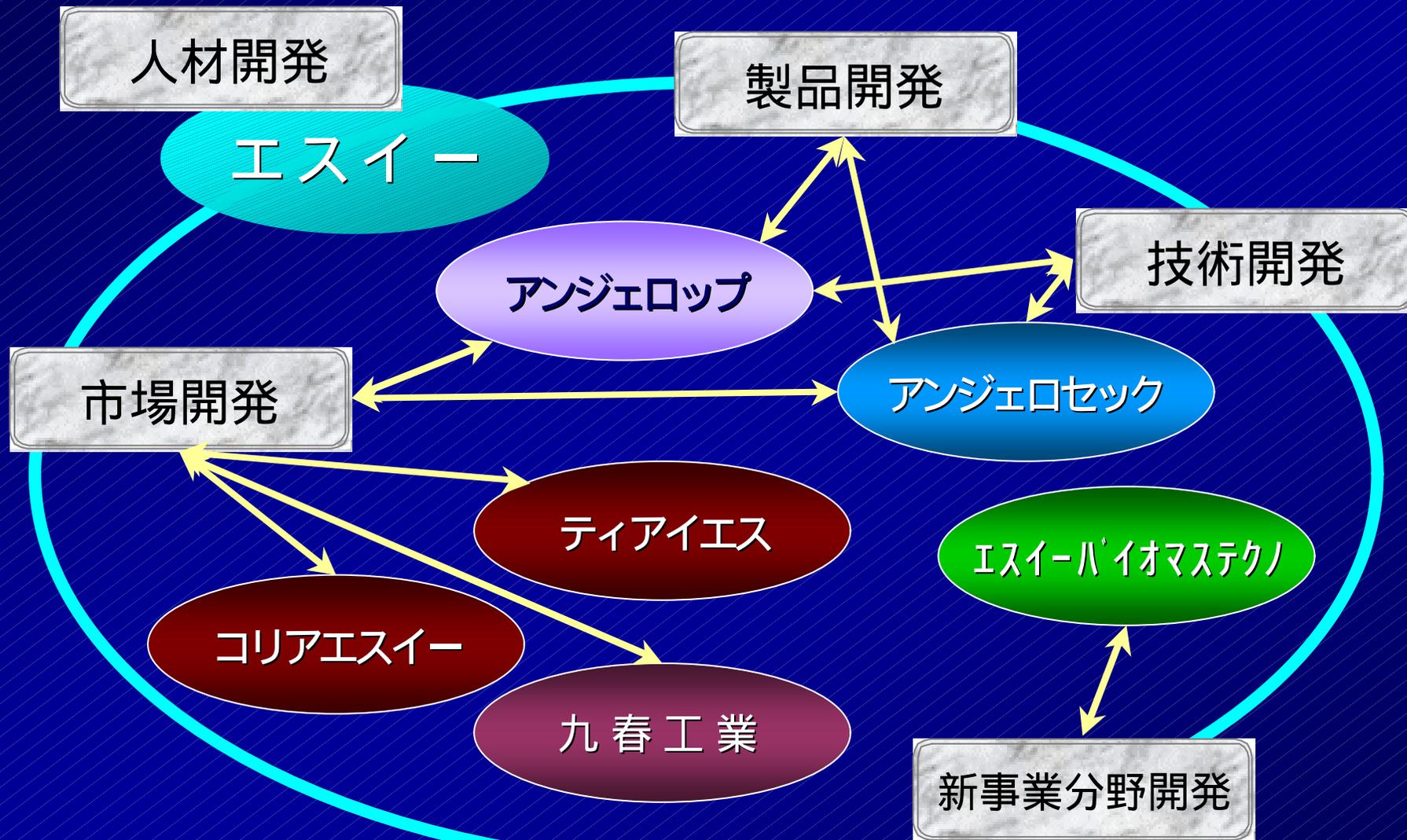
調査地域

中期的な展望について

SECグループ



開発型企业への取組み(SECグループ)



中期的な展望

■ 中期的な展望に向けて

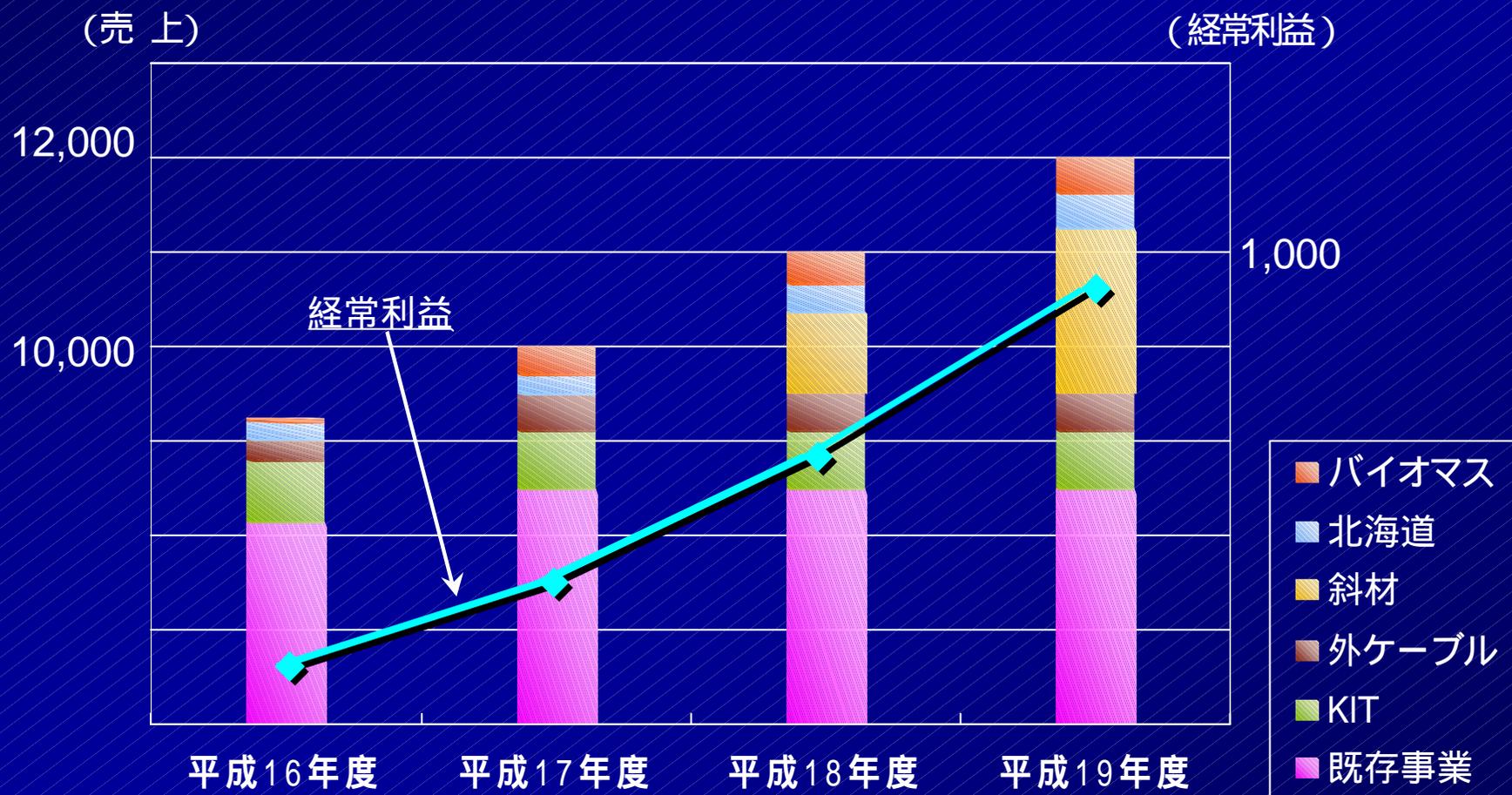
(課題)

- 既存事業の85億±3億の維持
- 新製品KIT受圧板の市場への更なる浸透
- タイブルアンカーM型の戦略的拡販
- 補強市場拡大に伴う外ケーブルへの対応
- 国内外の斜材市場への取組み強化
斜材架設エンジニアリングの推進
- 新規成長分野であるバイオマス事業の本格化

中期的な展望

■ 平成16～19年度分野別売上予測・計画(単体)

単位：百万円



Globality Engineering Maker



株式会社 エスイー